

60歳以上の年齢層へ4次接種施行 —ハイリスク群の重症、死亡予防のため4次接種施行—

(略)

4 [接種詳細計画:60歳以上の4次接種を実施、80歳以上は積極勧告]

○(接種目標)60歳以上の年齢層の重症・死亡予防を目標に実施する。

○(勧告内容)60歳以上の年齢層には接種の効果と安全性について十分な情報を提供し、4次接種を実施する。特に致命率の高い80歳以上については積極的に勧告する。

○(接種対象)60歳以上の年齢層のうち、3次接種を完了してから4か月(120日)が経過した方を対象に実施する。

- 出生年度基準では1962年以前の出生者まで該当し、接種間隔を考慮すると、4月末基準の対象者は約1,066万人(5月113万人、6月以降44万人)である。

○(接種間隔)3次接種後、少なくとも4か月(120日)経過時点から接種が可能で、既に4次接種を実施中の療養病院・施設(精神健康増進施設を含む)対象者と免疫低下者は集団感染の恐れや個人的な理由等により、3か月(90日)以降から接種可能である。

○(接種方法)委託医療機関で接種し、事前予約 HP(ncvr.kdca.go.kr)を通じて予約するか、当日接種が可能で、mRNA ワクチンで接種を受ける。

- ただし、委託医療機関での接種が容易でない場合、自治体の環境に応じて保健所での接種も可能である。

- 自ら予約が困難な高齢層は、HP を通じた代理予約や、**電話予約(1339、自治体コールセンター)なども可能**である。

- mRNA ワクチンの禁忌・延期対象者であったり、ノババックスワクチンを希望する場合は、ノババックスワクチンでも接種できる。

○(接種日程)事前予約は4月18日(月)から始まり、予約接種は4月25日(月)から実施する予定である。

- 当日接種は4月14日(木)から可能で、①カカオトーク・ネイバーで残余ワクチンを予約するか、②医療機関に電話で連絡して予備リストに名前を載せてから接種できる。

○(異常反応監視)接種を受けた60歳以上の年齢層すべてを対象に、接種時に登録された連絡先へ、接種後3日目に注意事項および措置事項を再案内し、

- 初期接種者のうち SMS 受信に同意した場合(5,000人予定)、接種後1週間の能動監視を通じて健康状態や日常生活の問題などを確認する計画である。

[60歳以上の年齢層の4次接種後、異常反応監視システムを運営]

分類	健康状態確認の文字メッセージ	能動監視
対象	60歳以上の4次接種者全員	60歳以上の4次接種者のうち、SMS受信及び能動監視への参加に同意した者5,000人
施行期間・方法	4次接種後3日目に予診時に登録された電話番号にメッセージ送付	4次接種後0～7日目に登録された電話番号で文字メッセージを通じてURLを提供
内容	<ul style="list-style-type: none"> ① 接種後の異常反応の発生有無等の健康状態を確認 ② 予防接種後の注意事項及び措置事項のご案内 	<ul style="list-style-type: none"> ① 接種後の異常反応の発生有無等の健康状態を確認 ② 異常反応の症状、日常生活の問題等を調査

(後略)

(了)

<出典元 URL>

http://ncov.mohw.go.kr/tcmBoardView.do?brdId=3&brdGubun=31&dataGubun=&ncvContSeq=6567&contSeq=6567&board_id=312&gubun=ALL#